

令和5年度
大阪市イノベーション促進評議会資料



1. 大阪市のイノベーション創出支援の体系	2
2. 最近の主な取り組みについて	3
3. 前回評議会（令和4年9月2日）における主なご意見について	12
4. 令和6年度のスタートアップ支援について	13

1. 大阪市のイノベーション創出支援の体系

大阪市イノベーション創出支援事業

(OIHを中心として実施)

コミュニティ形成

人材育成

プロジェクト創出

セミナー、
イノベーション人材育成
プログラム

アクセラレーション
プログラム(OSAPなど)

海外ワークショップ
(米国、アジアの
イノベーション先進地域へ)

ピッチイベント

イノベーション
創出支援補助金
大学の研究・技術シーズを
もとにした産学連携の
研究開発が対象

プロジェクトのショーケース

国際イノベーション会議「Hack Osaka」



連携

国(内閣府等)

大学

大阪府

京都

ひょうご神戸

経済界

など

京阪神

大阪・関西におけるイノベーション・エコシステムの構築
スタートアップの創出・成長

2. 最近の主な取り組みについて

2-1. スタートアップ・エコシステム拠点都市について

2-2. 拠点都市事業における情報発信(新規)

2-3. OIHの取組

2-4. 数字で見る成果

2-5. 注目スタートアップ

2-6. 産学官連携(大学の技術シーズの事業化支援)

2-1. スタートアップ・エコシステム拠点都市について

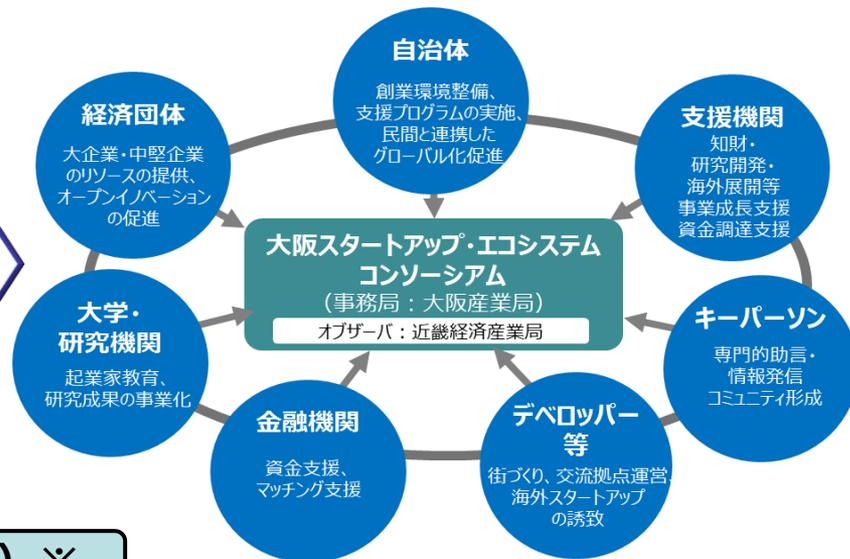
- 国は、シリコンバレーやニューヨークのように世界に伍する日本型のスタートアップ・エコシステムの拠点の形成と発展をめざし、スタートアップや支援者の一定の集積と潜在力を有する都市において、地方自治体、大学、民間組織等が策定するスタートアップ・エコシステム拠点形成プランを公募。
- 拠点に選定された都市には、関係省庁等が一体となった集中支援を実施。
- 大阪は、京都、ひょうご神戸と連携して「大阪・京都・ひょうご神戸コンソーシアム」として申請し、「グローバル拠点都市」に選定された（令和2年7月）。

- ・**グローバル拠点都市** 東京・横浜等、名古屋・浜松、**京阪神**、福岡の4カ所
- ・**推進拠点都市** 札幌、仙台、広島、北九州の4カ所

拠点都市に対する 国の支援策

- ・JETRO ⇒ ・海外トップアクセラレーターによるアクセラレーションプログラム
・拠点都市機能強化プログラム
- ・文科省 ⇒ ・大学発新産業プログラム（SCORE・STARTを活用するKSAC事業（※））
- ・経産省 ⇒ ・産学融合拠点創出支援事業
- ・内閣府 ⇒ ・政府系の9機関から成るスタートアップ支援機関プラットフォーム（Plus）による支援策の提供
⇒ ・各拠点都市間でのネットワーク拡充とベストプラクティスの共有 など

大阪スタートアップ・エコシステムコンソーシアム



京阪神スタートアップ・アカデミア・コアリション (KSAC) ※

- ・関西地域の22の大学を含む産学官金63機関で構成されるプラットフォーム。
- ・大学シーズの実用化や人材育成を強力に支援し、大学発のスタートアップが持続的に創出される環境の構築をめざす。
- ・文部科学省の「社会還元加速プログラム (SCORE)」(令和3年度) および「大学発新産業創出プログラム (START)」(令和3~7年度※最長で) を活用。
- ・起業活動支援 (GAPファンド)、起業家教育の指導・支援人材の育成、起業環境の整備 (共用試作機器等)、地域のエコシステム形成に取り組む (GAPファンドでは、これまで53件を支援)

2-2. 拠点都市事業における新たな情報発信（新規）

Kansai Startup Mashups

- ・京阪神のコンソーシアムとJETRO大阪本部が連携し、関西発でグローバルに挑戦するスタートアップを支援するブランドとして合同で立ち上げ
- ・京阪神地域でこのブランドを使ったイベントを開催
(2023年1月25日：神戸、同年2月7日：京都、同年3月2日：大阪にて開催)



Dealroomへの掲載について

- ・JETRO大阪と（公財）大阪産業局、京阪神のコンソーシアムが連携し、スタートアップに関する情報を提供するオランダの「Dealroom」が運営するポータルサイトに京阪神の最新情報を公開。

(具体内容)

- ・京阪神のスタートアップリストとその資金調達やEXIT状況、支援機関情報、イベント情報等を公開
- ・海外VC、CVC等に京阪神のエコシステムの魅力やポテンシャル、情報等を英語で発信



大阪の有望なスタートアップの海外への発信

◎シンポールで開催のスタートアップイベント「Switch」に、大阪のスタートアップ3社を出展。併せて、大阪コンソーシアム各会員の取組等を発信（2023年10月31日～11月2日）

(出展した3社)

- 株式会社EX-Fusion（レーザー核融合の研究開発）、株式会社フツパー（製造業向けAIサービス）
- 株式会社SIRC（電流・電力等をリアルタイムに計測できる超小型センサの開発）

2-3. OIHの取組①

スタートアップの創出・成長に向けたイベント・プログラムの実施

- ・ピッチイベント（スターターズピッチ、うめきたピッチなど）
- ・アクセラレーションプログラム（OSAPなど）
- ・人材育成イベント
- ・その他各種セミナー など

合計200回以上開催を予定

姉妹都市交流を活かした取組

◎ シカゴ市との交流

- ・シカゴ市との姉妹都市提携50周年を迎え、相互に都市訪問を実施
- ・大阪では、OIHにて経済イノベーションセミナーを開催

主なイベント

- 令和5年7月30日～令和5年8月4日:大阪市代表团によるシカゴ市訪問
イノベーション支援機関「1871」訪問
スタートアップ支援関連の意見交換を実施
- 令和5年11月2日:シカゴ市による経済イノベーションセミナー(場所:OIH)
シカゴ市副市長や支援機関によるピッチ、シカゴ市代表团との交流会を実施



◎ メルボルン市との交流

- メルボルンを本拠地とする非営利のアクセラレーター「MedTech Actuator」と連携し、OIHにてアクセラレーションプログラム「Orijin」の日本セッションを開催
- プレシード・シード期のヘルステック・バイオテックのスタートアップを対象に、グローバル展開を目指すための戦略立案に関する講義・ピッチトレーニングを実施（令和5年10月16日、17日）
- 大阪市長のメルボルン市出張時に「MedTech Actuator」を訪問（令和5年10月24日）



2-3. OIHの取組②

国際イノベーション会議 Hack Osaka 2023

- ◎ 2025年の大阪・関西万博に向けて、クリーンテック・フィンテック・スポーツテック分野に着目
- ◎ 大阪のエコシステムを世界に紹介し、**世界で活躍するスタートアップに対する大阪の吸引力の向上**をめざす

概要・実施状況

- ◎ 開催日時: 令和5年2月21日(火)11:00~18:30 ※商談会: 2月21日(火)、22日(水)
- ◎ 開催手法: リアルとオンラインのハイブリッド形式 ※申込者は810人
- ◎ 主な内容: ①テーマセッション: 『**グローバルマーケットで戦う起業家のすすめ**』(Warrantee)
②展示会: **国内外スタートアップ企業29社による出展・ピッチ・商談会を実施**
※商談会には、VC・CVC・大手企業の計10社が参加(商談件数は66件)
③ピッチコンテスト: **世界各国のスタートアップ9社が登壇**
(テーマ: Future Society、分野: クリーンテック・フィンテック等)
※商談会: 海外スタートアップ9社と大阪・関西の企業・投資家等のマッチング(54件)



(予定)国際イノベーション会議 Hack Osaka 2023- 2nd. Edition -

- ◎ 2025年の大阪・関西万博に向けて、**大阪エコシステムの発信力を強化する為、初の2日間開催**を予定
- ◎ また、国際ピッチコンテストの日本予選をプログラムへ組み込み、「**関西と世界を繋ぐゲートウェイ**」をめざす

(予定)概要・実施内容

- ◎ 開催日時: 令和5年12月18日(月)13:00~18:00、令和5年12月19日(火)11:00~17:00
- ◎ 開催手法: リアルのみ
- ◎ 主な内容: ①テーマセッション: 『**レーザー核融合によるエネルギー革命と産業の創出**』(EX-Fusion)
『**大企業とスタートアップのパートナーシップの在り方**』(Stripe Japan) ※テーマは調整中
②展示会・ピッチ: 国内外スタートアップ企業28社による出展・ピッチ・商談会
海外スタートアップ企業11社によるピッチ ※商談会: 12月20日(水)
③ピッチコンテスト: **国際ピッチコンテスト「Get In the Ring」日本予選**
(テーマ: Impact Society、分野: 社会的にインパクトのあるビジネス)

2-4. 数字で見る成果

大阪スタートアップエコシステム・コンソーシアムの目標

KPIの項目	大阪の目標	数値	達成状況 (令和5年3月時点)
スタートアップの創出	◎スタートアップの設立件数 ◎うち 大学発スタートアップの設立件数	300社 100社	279社 98社
スタートアップの成長	◎ユニコーン輩出件数 ◎5億円以上調達スタートアップ件数	3社 75社以上 ←当初50社	0社 81社
起業家の聖地	◎外国人起業家の誘致件数 ◎スタートアップVISAの活用数	20社 30者 ←当初3者	25社 19者
スタートアップの活躍	◎万博を契機に活躍するスタートアップ輩出件数	50社	—

大阪市イノベーション創出促進事業の目標

コンソーシアムの目標達成のため、
大阪市事業として次の目標を設定

目標	数値	達成状況 (令和5年3月末時点)
新たなプロジェクトの創出・推進支援件数	400件以上 (令和3～7年度)	163件
スタートアップ等における資金調達額	300億円以上 (令和3～7年度)	223億円

※令和2年度以前に支援した企業が新たに資金調達した額を含む。